

## 皆が笑顔になる、「フェアトレード」便り No.4 田中惣一商店 2023.3.1

\*\*\*「フェアトレード」とは、開発途上国の原料や製品を適正な価格で継続的に購入することで、生産者や労働者の生活改善と自立を目指す「取引のしくみ」の事です。\*\*\*  
(一方的な寄付ではない持続可能な取り組みです)

\*\*\*「エシカル消費」人・社会・環境に配慮した消費活動。「フェアトレード」商品を買うこともそのひとつ。

<フェアトレードの歴史>

1950~1960年代・・・南北問題がクローズアップ。

1960年代・・・イギリスの団体、オックスファムが生産者支援のため、途上国の民芸品などを販売。(国際市場や一般流通を介さないなので、お互いの顔が見えます。)

1970年代・・・欧米各国で、途上国から手工芸品や農産品を売るショップが誕生。

1980年代・・・ビジネス化、ネットワーク化

1990年代・・・多様化、ファッション化、日本各地にもフェアトレードのNGOや会社、ショップが広がる。

2000年代~世界各地で「フェアトレードタウン」運動なども広がる。イギリスで誕生して以来、世界30か国以上に広がり、フェアトレードタウンの数も2022年には2208都市に達しています。日本では、2011年に、日本初のフェアトレードタウンになった熊本市を始め、名古屋市(2015年)、逗子市(2017年)、浜松市(2017年)、札幌市(2017年)、いなべ市(2019年)の合計6都市が認定されています。3年毎の更新。フェアトレードタウンを認定する基準は、各国独自で定められており、日本においては、イギリスで最初にさだめられた基準に、「地域活性化」を加えた6基準としています。これは、地域の課題に取り組む他の運動との連携により、より広範で持続的な活動を目指しているためです。世界で初めてフェアトレード大学に認定されたのはオックスフォードブルックス大学で、欧米を中心に286大学(2022年)あります。日本では2014年に静岡文化芸術大学、2019年に札幌学院大学と北星学園大学、2021年に青山学院大学。

<館山近郊・フェアトレードマップ>作りましたよ。見てくださいね。(田中惣一商店のHPから、「フェアトレード」を検索していただくと、見れますよ。(スマホでもOK!))

・・・フェアトレード商品を販売しているお店や、フェアトレードの素材(コーヒー、カカオ、塩、砂糖、ナッツ等々)を使ってお菓子やスイーツを販売して下さるお店などをご紹介します。私たちがお調べして、許可の頂いたお店をご紹介しますが お客様のほうで、また、ご紹介ください。(田中まで) みなさんで、マップを作りましょう!

<フェアトレード・ミリオンアクションキャンペーン>世界中で5月は、フェアトレード月間です。今年も5月1日~31日まで。「SNS投稿」「イベント参加」で、フェアトレード商品が抽選で当たります。今年も、1アクションにつき、1円が寄付されます。また、詳細が決定次第、「フェアトレード便り」「フェイスブック」「インスタ」でお知らせしますね。